

世界かんがい施設遺産とは

- 世界かんがい施設遺産(World Heritage Irrigation Structures)は、かんがいの歴史・発展を明らかにし、理解醸成を図るとともに、かんがい施設の適切な保全に資するために、歴史的なかんがい施設を国際かんがい排水委員会(ICID)が認定・登録する制度。
- 認定により、かんがい施設の持続的な活用・保全方法の蓄積、研究者・一般市民への教育機会の提供、かんがい施設の維持管理に関する意識向上に寄与とともに、かんがい施設を核とした地域づくりに活用。
- 世界かんがい施設遺産の対象施設・申請基準
 - 建設から100年以上経過(供用廃止施設も対象)
 - 次のいずれかの施設
 - ①ダム(かんがいが主目的)
 - ②ため池等の貯水施設
 - ③堰、分水施設
 - ④水路
 - ⑤排水施設
 - ⑥古い水車
 - など
 - 9項目の基準のうち1つ以上満たす施設
- 【9項目のうち主な基準】
 - ①かんがい農業の画期的な発展、食料増産、農家の経済状況改善に資するもの
 - ②構想、設計、施工、規模等が当時としては先進的なもの、卓越した技術であったもの
 - ③設計、建設における環境配慮の模範となるもの 等
- 申請の流れ

